

令和元年12月

志登茂

(野村元三重大学長筆)

第54号



志登茂会発行

===== 目 次 =====

特別寄稿 三附属病院へようこそ

(三重大学医学部附属病院医学・病院管理部長 山田 浩之) ... 1 ～ 2 頁

志登茂会会長の 5 年目 (志登茂会会長 寺西 清) 3 頁

2019 年を振り返ると・・・ (中島英雄) 4 頁

悠々自適 (原林幸一) 5 頁

公開講座を受講して (中西和康) 6 頁

定年退職後 3 年目を迎えて (東川正朗) 7 頁

令和元年度総会・懇親会報告 8 ～ 17 頁

(経過報告、決算予算、役員改選、志登茂会会則、写真)

琵琶湖八景近江八幡水郷めぐり等 (バス旅行) 18 ～ 20 頁

事務連絡・編集後記 21 頁

※ 表紙の写真

三重大学医学部附属病院 (令和元年 8 月撮影)



附属病院へようこそ

三重大学医学・病院管理部長
山 田 浩 之

皆さまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私事で恐縮ですが、昭和 53 年 4 月に三重大学水産学部教務係に採用され、最初の 4 年間以外は、医学部・附属病院と事務局の往復異動を経て、令和元年度末で定年を迎えることとなりました。これまで多くの諸先輩方に大変お世話になり、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

附属病院での業務経験が通算 26 年（うち 3 年間は名古屋大学病院に出向）と大学職員生活で一番長くなりましたので、僭越ながら附属病院の近況をご紹介させて頂きたいと存じます。

旧病院が開設された 1973 年（昭和 48 年）10 月から 45 年の時を経て、2018 年（平成 30 年）3 月に新病院の建設工事が全て完了しました。2006 年（平成 18 年）8 月の再開発工事着工（旧精神科病棟取壊しのための旧病院改修）に始まり、2012 年（平成 24 年）1 月に屋上ヘリポートを備えた 12 階建ての新病棟が稼働し、2015 年（平成 27 年）5 月に 5 階建ての新外来・診療棟が開院、2018 年（平成 30 年）3 月に駐車場・外構工事の終了まで、12 年近くの歳月を要しました。病院再開発計画段階から含めると、約 20 年にわたる一大事業であり、本当に多くの関係の方々のご苦労とご協力の賜です。

新病院は、入院ベッド数が 685 床、手術室は外来・診療棟完成後 16 室に増え、手術支援ロボットのダヴィンチ（現時点で 2 台有するのは県内で当院のみ）やハイブリッド手術室（手術室と血管内撮影装置を組み合わせた手術室）などの最新の医療設備が整備されています。また、新たな診療部門として、形成外科、高度生殖医療センター、リウマチ・膠原病センターなど近年ニーズの高い診療機能や人員体制が整備されています。

最近のトピックでは、本年 9 月に「がんゲノム医療拠点病院」として全国 34 施設の一つとして認定されました。がんゲノム医療とは、従来の手術や薬物療法、放射線治療といった標準治療がないがんや、標準治療が終了した場合などに、主にがんの組織を用いて多数の遺伝子を同時に調べ（がん遺伝子パネル検査）、遺伝子変異を明らかにすることにより、一人一人の体質や病状に合わせて治療を行う医療とされています。遺伝子パネル検査は本年 6 月に保険適用になりましたので、本院においても 12 月頃から本格的ながんゲノム医療が開始される予定です。また、本院は平成 25 年 2 月から小児がん拠点病院としても全国 15 施設の一つとして認定されており、両方の認定を受けているのは、地方国立大学では本院と広島大学病院のみです。

さて、新病院建設には約 350 億円かかっていますが、その財源の殆どは国からの借入金（財政融資資金）です。平成 16 年法人化時に国の時代の借入金返済も承継しているため、ピーク時には利息を含め年間 25 億円を返済、今でも毎年約 20 億円を返済しています。しかし、本院は東日本大震災前に契約済みであったため、震災後の建設費の高騰の影響は免れることができました。今建てようとする、おそらく倍近くかかるのではないのでしょうか。

ここで病院経営指標の推移を簡単にお示しします。

病院収入（診療報酬稼働額）は、平成 16 年度 121.8 億円から右肩上がりに増え、平成 30 年度 249.3 億円に倍増、今年度は 260 億円を見込んでいます。手術件数も平成 16 年度 4,139 件から平成 30 年度 7,359 件、今年度 7,600 件以上を見込んでいます。

新入院患者数は平成 16 年度 9,099 人から平成 30 年度 16,566 人、今年度 18,000 人近くを見込み、20 日以上だった平均入院日数は 12 日を切るまで短縮しているため、格段に回転率が高くなっています。このため、医師や看護師、メディカルスタッフは非常に多忙になっているとも言えます。法人化後は各大学の経営状況に応じて人員増も可能となったため、本院においても常勤職員数は平成 16 年度 619 人から今年度 1,056 人、教員 107 人→202 人、看護師 367 人→614 人、メディカルスタッフ 70 人→134 人と増員してきました。

これら経営規模の拡大は、本院に限らず他大学でも同様ですが、これまでの医療技術の進歩や抗がん剤オプチーボに代表される新しい医薬品の開発、長寿命化に伴う患者数の増加といった要因によるところが大きいと思います。

しかしながら、いわゆる 2025 年問題（会員の皆様も多い？団塊の世代が 75 歳を迎える）のその後は、人口減少の影響の方が大きくなり、患者数も減少、地方ではよりその影響が大きくなるとされています。また、人口減で国の税収も減るため、医療費をいかに抑制するかが課題となっており、診療報酬改定も毎年マイナス改定が続くと予想されます。

今まさに三重県でも地域医療構想として、2 次医療圏（本院は津・伊賀医療圏）ごとの医療機能の再編分化の検討が進められており、高度急性期、急性期、回復期、慢性期の各医療ニーズに応じた適正な病床規模への再編が進められる見込です。

三重大学病院は、地域医療における「最後の砦」として、高度急性期、急性期医療を担うのは言うまでもありませんが、近い将来に迫る患者数の減少に備え、全て右肩上がりではなく、経営基盤の安定化に備えておくべき時期なのかもしれません。でも、新しくなった病院も色々な面でスペースが不足し、すでに外来棟の改修なども行っていますし、再開発時に購入した多くの医療機器も更新が必要なため、今後も収益を確保していく必要があります。

そこをお願いします。本院では、地域の医療機関（かかりつけ医）と「医療連携協定」を締結し、かかりつけ医と大学病院がスムーズに連携して診療できるようになっておりますので、皆さまにおかれましては、病状などご心配な点がございましたら、是非かかりつけ医から大学病院へ紹介して頂くよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、これから寒さ厳しくなる折、皆様にはくれぐれもご自愛ください。



（旧病院）



（新病院）



志登茂会会長の5年目

志登茂会会長
寺西 清

皆さんに助けて頂きながら今年3月末で会長を2期(4年)務めましたので、会長の交替をお願い致しましたが、後任者がいないとのことで引き続き会長に就かなければならない羽目になりました。

6年ほど前に前会長の藤森さんより会長への就任要請がありました。しかし自分にはその資質もなく、会長職務の真つ当な遂行は到底無理だとの思いもありお断りをしていましたが、再三の要請により止む無く応諾致しました。

しかし、会長に就いたからには会員の皆さまに少しでも楽しみや喜びを味わって頂こうとの思いで、他の役員の方々と知恵を出し合い、志登茂会の運営に当たってきましたが、思うように事が進まず、皆さんに不快な思いをさせているのではないかと、会長応諾を深く反省している昨今です。最後のこの1期も微力ながら頑張りたいと思いますので、皆様のご指導ご協力の程よろしく願いいたします。

今年の5月には皇位継承が行われ、年号も『平成から令和』に変わり、10月22日には「即位礼正殿の儀」が厳かに挙行されました。11月22・23日には伊勢神宮にて即位の儀式が終えられたことを報告する『親謁の儀』が厳粛に行われ、その際の二頭立ての馬車上での天皇陛下の凛々しいお姿や、沿道で小旗を振られている方々への皇后さまのにこやかな笑みの対応が強く印象に残りました。

年号が変わり、我々志登茂会の会員は「昭和、平成、令和」の3時代に活躍されてきたことになりますが、私が三重大大学に採用された時には、明治生まれの先輩が在職されておられ、大戦での戦場の話を聞くことも有り、「私の三重大大学での係わりは明治～令和までの5年号に及んだのだナー」と振り返り、昔を懐かしく思い出しています。

次の皇位継承が何時になるか分かりませんが、互いに「この令和の時代」を健康で穏やかに過ごしたいですね！！

今年の志登茂会の親睦行事は『琵琶湖八景近江八幡水郷巡り等のバスツアー』を計画し、11月14日に実施いたしました。会員の皆様にも種々都合もあり、思いの外参加者が少なかったため、看護部OBの方5名が参加して下さり参加者は23名になりました。

参加された方々は、近江八幡水郷めぐりでは琵琶湖にもつながる水路の水際に群生する葦や水面を泳ぐカモ等を眺めつつ、船頭の漕ぐ櫓に操られゆっくり進む屋形舟に揺られながらの水路巡り、多様な風景を眺めそれ相当に楽しんで頂けたと思っています。

親睦行事の実施に際し、皆様が十分に満足できるような有効な行事を開催することが出来なかったことを反省しています。来年度は今までの実施内容等を再考し、計画したいと考えていますので、会員の皆さま方に何か妙案が有ればお聞かせください。

今後の志登茂会運営へのご理解・ご協力・ご支援を宜しく願いいたします。



2019年を振り返ると・・・

新入会員
中島 英雄

志登茂会会員の皆様

今年4月から、伝統ある志登茂会に入会させていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、2019年もあと僅かとなりましたが、今年ほど大きな出来事が数多くあった年は近年なかったのではないのでしょうか。この入会后最初の会報を10年後に読み返してみようことを想定して、私なりに振り返ってみたいと思います。私的な備忘録として活用させていただくこと、そして私感を基にチョイスすることをご容赦願います。

2019年、先ず一番大きな記念すべき出来事は、何といても5月1日、徳仁様が新天皇に即位し、「平成」から「令和」に改元されたことでしょうか。陛下のお言葉のように“国民の幸せと国の一層の発展、そして世界の平和を希望”いたします。この喜ばしいことに反して、9月の台風15号の直撃、続く19号の大雨による激甚災害がありました。全国71河川が堤防決壊、越水による被害も多発しました。気象庁の「数十年に一度の大雨」等の表現を毎年聞く時代になってしまったという感があります。

他にも悲しく、残念なこともありました。沖縄の象徴であり県民の誇りであった首里城の消失、世界遺産のノートルダム大聖堂の火災による崩落等です。憤りを感じる事件や大きく社会問題になったこともありましたね。京都アニメーション放火殺人、あおり運転、母子が巻き込まれた87歳の旧産業省工業技術院院長が起こした死亡事故を始めとする高齢者ドライバーによる交通事故がクローズアップされました。小4女児虐待事件もありました。また、発生からいまだに解決されていない国際問題もあります。英国のEU離脱問題は混迷が続き、香港の反政府抗議活動は沈静化する気配がありません。最悪なのは、改善の糸口が見えない日韓関係でしょう。勿論双方に問題があるとは思いますが、反日を煽ることで国民の目を自らの失政から背けさせ、保身のため景気減速の原因は日本政府の輸出管理規制強化措置にあると終始一貫連呼する文大統領では、韓国消滅論が囁かれるのも無理はありません。可哀そうなのは韓国国民です。

しかし、明るく嬉しくなる出来事もたくさんありました。吉野 彰氏のノーベル化学賞受賞、はやぶさ2の「りゅうぐう」着陸、iPS細胞から作った角膜の世界初の移植等々。そして、今年、日本を救ったのは、間違いなくスポーツ界です。いくつか挙げてみます。1月の全豪オープンテニスで大坂なおみ選手が昨年の全米オープンに続いて優勝、世界ランキングも1位を獲得。渋野日向子が全英オープンゴルフで日本人として42年ぶりのメジャー制覇。八村塁がなんとNBA（男子プロバスケットボールリーグ）のドラフトで日本史上初の1位指名（年俸は21歳にして4億超）。極めつけはやっぱりラグビーワールドカップのベスト8進出。私もわかファンの一人ですが、2月間、ラグビーでこんなに真剣に応援し、叫び、感動したことはありません。ありがとう！「ラグビー日本代表」。

以下、こんなのもありましたということで、項目のみ。カルロス・ゴーン解任、米朝首脳会談、消費税10%に変更、イチロー引退、読売ジャイアンツ4年ぶりのリーグ優勝も日本シリーズで屈辱の4連敗、芸能人の薬物使用による逮捕、タピオカの流行・・・。

最後に私事です。娘二人が今年から一人暮らしを始めました。一人は名古屋で、もう一人はベトナムのハノイです。そして私は、61になっても昨年からの50肩が治りません。

はてさて、来年は、いよいよオリンピックイヤー、どうか良い年になりますように。



悠々自適

原 林 幸 一

先日突然会長から電話があり、会報に掲載する記事投稿について依頼がありました。最近まったく文書を書いたことがなく、一旦は断ったものの、何とか思うままに一筆書いてみました。

私は、元来いろんなことに興味があり、それがひいてはどっちつかずの状態でしたが、定年退職後は、志登茂会の仕事を暫らくさせていただきました。

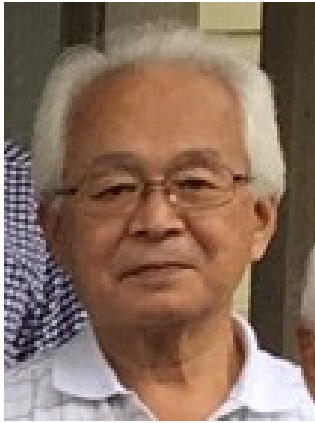
それまでの人生において、三翠会館の庭園がとても気持ちの和む場所でした。仕事の傍ら、庭園の樹木の剪定等をしてきました。伸び放題の雑木や枝などを整理し、剪定すると気持ちが変わりました。一種のストレスが和らぐような気がしました。

その後、現在の仕事（津市シルバー人材センター）で庭木の剪定を続けております。

剪定技術認定制度により、ランクAの認定を受け、10年余りが過ぎ、現在に至っております。この仕事にも過去の経験が役に立っており、作業に必要な機器も、有る物を利用して作る楽しみが生まれました。その一つに、剪定で出た枝葉等は処分する必要がありますが、軽トラで焼却場へ運び込み捨てる際に、時間がかかることも多く、その報酬は固定時間制となっているため、いかに能率よく処理をするかにかかっており、そこで考えたのが、車のジャッキを利用してダンプ仕様に荷台を改良し、200キロ前後の物を数秒で降ろすことができるようにしました。他にも車の安全ベルトを利用した作業用の安全ベルト、掃除機のファン、植木鉢（ポリ）にゴミ箱の蓋の部分等を利用したブロワー、ディスクグラインダーを利用した草刈機、ポリ箱の整理道具箱等々、自分なりに廃物を工夫することが楽しみで、日々過ごしております。

また、家庭では狭い屋敷に、果樹や野菜類を栽培しております。柿は1本の木に5種類を接ぎ木し、野菜等は畑地が狭いので、車のホイール、古タイヤ及び商業用のビニール製鉢等に、苺、落花生及びタマネギ等を栽培しております。

狭いながらも庭には、小さなビオトープを作り、そこで近くの川で獲った魚を飼っていましたが、害獣（アライグマ）の被害に遭い、怒り心頭、市に相談し捕獲を実施したところ、なんと、わずか10日間で4頭を捕獲することが出来驚きました。その後、防護柵で対応しており被害はありません。また去年は、わずかに作った干し柿を、一夜で猿と思しきものに被害を受け、その反面、この辺りはまだ自然が豊富なのかな？と、錯覚を感じる今日この頃です。



公開講座を受講して

中 西 和 康

会長、副会長、幹事の皆様には会員相互の親睦と健康の増進を図るため、各種行事の企画などにご尽力を頂きありがとうございます。

今回は、三重県総合文化センター大ホールで、三重大学病院主催の市民県民公開講座「がん最先端医療」の案内を頂きましたので、志登茂会を経て受講申込書を提出したところ、暫くして医学・病院管理部総務課秘書広報係から「参加証」が郵送されてきました。

最近では、「主治医が見つかる診療所」、「〇〇〇の家庭の医学」など健康（病気）をテーマにしたテレビ番組が多くなり、ついつい気になって見入ってしまいます。身近な医療機関では実際のところどうなのかなと思っていたのが受講のきっかけです。

冒頭の病院長の講話のなかで「三重県にはがんセンターはない。」には、ハットとする響きがありました。二人に一人ががんになると言われる時代に、がんセンターがない。がん患者はどこでどのような治療が受けられるのか知っておかなければ後悔すると思い、講演内容のメモをとり続けました。

講演は癌に特化した三重大学病院最先端医療の説明と生活習慣等では、

1. 肥満にならない
2. 脂っこい食事の摂りすぎに注意
3. アルコールは控えめに
4. 禁煙する
5. 適度の運動

そのほか

6. 大事な決断は判断を急がない
7. 治療にあたっている医療者から情報を得る（不確かな情報に惑わされない）
8. 病気になっても多くの選択肢がある
9. 情報過多になってはいけない
10. 貴方がいてくれること、そのものが支えになる。

など健康を損ねないように、また、万一のときの心構えなど、参考となる話を先生方から直接聞く良い機会となりました。

自分と同年代ぐらいの受講者が多く出席していて盛況でした。ありがとうございました。



定年退職後 3 年目を迎えて

東 川 正 朗

平成 29 年 3 月に定年退職し、3 年目を迎えています。

退職後 1 年目は、町内会への恩返しとして町内会長を引き受けました。

現役時代から長年町内会役員をしていたので、町内会長の仕事は理解していると思っていましたが、思ったよりも鳥羽市役所などから届く書類が多く戸惑いながら忙しい時間を過ごしました。

その中で市役所などへ提出する補助金申請の事務では、大学事務で培った経験を活かすことができ、補助金の獲得ができたことなど充実の 1 年間でした。

退職後 2 年目は、26 歳の時に建てた自宅が 36 年経過し老朽化してきたため、リフォームをしました。大工さん、その他職人さんたちと相談し着々と進んでいくことを楽しみながら、家のリフォームが完成しました。

退職後 1 年目と 2 年目は、退職前から計画をしていたことを実行するだけでしたが、退職後 3 年目からは、心のリフレッシュをするために旅行に行きました。

4 月は、やきものを見学する九州旅行でした。現役の時にふれることができなかった唐津焼や伊万里焼などの窯場を見学し、気に入った作品を購入することができました。6 月は、火事で焼失した首里城があった沖縄、そこから足を延ばして石垣島、そして台湾へと客船の旅をしてきました。この旅行でも沖縄の壺屋焼を手に入れたり、台湾の故宫博物院で中国の古い有名なやきものを見ることができ、現役時代から続けてきたやきものの趣味を楽しむことができました。

11 月は、大阪へウィーンフィルとベルリンフィルの日本公演を聴きに行くことができました。中学校、高校時代に吹奏楽部でクラシック音楽と出会い、今回世界一のオーケストラを聴くことができたことは夢のようで感動の余韻がいつまでも続いています。

来年 4 月からは、退職後の夢の夢であった約 100 日間の飛鳥Ⅱ世界一周クルーズに行く予定です。これらの夢を叶えることができることを幸せに感じています。

これまでの人生をふりかえり、その時々には叶えなかった夢を思い出しながらこれからも一つずつ夢を叶えていきたいと思っています。

最後に志登茂会会員、三重大学OBの教職員、現役の教職員の皆様のご健康とご多幸をお祈りしたいと思います。

令和元年度 志登茂会総会・懇親会

総 会 式 次 第

1. 開会の辞
2. 新入会員（退会）の紹介
3. 会長挨拶
4. 議案の審議
 - (1) 平成30年度経過報告 (資料 1)
 - (2) 平成30年度決算報告 (資料 2)
 - (3) 平成30年度監査報告 (資料 3)
 - (4) 令和元年度予算 (資料 4)
 - (5) 役員改選 (資料 5)
 - (6) 会報「第54号」の発行について
 - (7) その他
5. その他
6. 閉会の辞

経過報告

平成30年	4月17日	会計監査の実施 第1回役員会（平成30年度事業計画、総会等）
平成30年	6月5日	第2回役員会（総会準備等）
平成30年	6月17日	総会及び懇親会開催 於：ベルセ 島崎（34名出席）
平成30年	8月7日	第3回役員会（親睦行事の決定、会報発行準備）
平成30年10月	9日	第4回役員会（親睦行事の実施準備）
平成30年10月17日		志登茂会親睦行事（21名参加） 志摩での昼食会と英虞湾遊覧等
平成30年11月11日		医学部公開講座受講（6名参加） 講義第Ⅰ『The 病理医：病理医とともにがんを考える』 講義第Ⅱ『ここまで進んだリウマチ膠原病の診療』
平成30年12月	4日	第5回役員会（会報53号の編集準備）
平成30年12月12日		会報53号の発行
平成31年	2月19日	第6回役員会（令和元年度事業計画、総会等）

☆新入会者

木 村 信 之 氏
中 島 英 雄 氏
山 崎 晴 夫 氏

☆退会者

田 口 博 和 氏	平成30年12月21日死亡
上 川 節 子 氏	平成31年 3月31日付
鈴 木 信 幸 氏	平成31年 3月31日付
中 野 丈 子 氏	平成31年 3月31日付
橋 本 慈 之 氏	平成31年 3月31日付
松 田 洋 子 氏	平成31年 3月31日付
山 岡 透 氏	平成31年 3月31日付
山 門 麗 子 氏	平成31年 3月31日付

資料 2

平成 3 0 年度 志登茂会収支決算書

【収入の部】

(単価 円)

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
前 年 度 か ら の 繰 越	358,584	358,584	
会 費	138,000	134,000	
預 金 利 息	2	2	
雑 収 入	0	10,000	杉谷秀也氏からの寄附金
計	496,586	502,586	

【支出の部】

(単価 円)

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
印 刷 費	30,000	25,380	会報第53号 (150部) 印字サービス
会 議 費	15,000	26,612	会計監査・役員会・現職職員との情報交換会 お茶・昼食代
通 信 費	35,000	25,064	会報発送料、総会案内はがき、振込手数料、弔電
事 務 費	10,000	12,636	角 2 封筒
行 事 等 補 助 費	50,000	40,612	総会 (懇親会補助)、旅行お茶代等
予 備 費	20,000	0	
小 計	160,000	130,304	
翌年度へ繰越	336,586	372,282	
計	496,586	502,586	

会 計 監 査 報 告 書

平成31年4月16日

志 登 茂 会

会 長 寺 西 清 殿

監 事 寺 嶋 資 文



監 事 中 西 和 康



志登茂会会則第5条第5項により、平成30年度の会計監査の実施に当たり、収支決算その他帳票類を監査した結果、すべてが適正であったことを認め報告します。

資料 4

令和元年度 志登茂会収支予算書

【収入の部】

(単価 円)

項 目	令和元年度 予 算 額	平成 3 0 年度 決 算 額	増減額	備 考
前 年 度 か ら の 繰 越	372,282	358,584	13,698	
会 費	128,000	134,000	△ 6,000	64人分
預 金 利 息	2	2	0	
雑 収 入	0	10,000	△ 10,000	
計	500,284	502,586	△ 2,302	

【支出の部】

(単価 円)

項 目	令和元年度 予 算 額	平成 3 0 年度 決 算 額	増減額	備 考
印 刷 費	30,000	25,380	4,620	会報第54号印刷等
会 議 費	30,000	26,612	3,388	会議等お茶代・昼食代
通 信 費	30,000	25,064	4,936	総会案内 会報等発送 振込手数料
事 務 費	10,000	12,636	△ 2,636	封筒等
行 事 等 補 助 費	40,000	40,612	△ 612	総会懇親会等補助
予 備 費	20,000	0	20,000	
小 計	160,000	130,304	29,696	
翌年度へ繰越	340,284	372,282	△ 31,998	
計	500,284	502,586	△ 2,302	

役員の改選任

志登茂会役員の任期は、2 年とする。但し再任は妨げない。（会則第 7 条）

役員一覧

令和 元年 6 月 9 日総会決定

役員名	氏 名	任 期
会 長	寺 西 清	令和 3 年 3 月 3 1 日（再任）
副会長	加 藤 孝 生	令和 3 年 3 月 3 1 日（再任）
同	市 川 知恵子	令和 3 年 3 月 3 1 日（新任）
幹 事	北 川 昭 義	令和 3 年 3 月 3 1 日（再任）
同	長 嶋 重 次	令和 3 年 3 月 3 1 日（再任）
同	中 西 治 幸	令和 2 年 3 月 3 1 日
同	廣 信 幸	令和 2 年 3 月 3 1 日
同	前 田 政 彦	令和 2 年 3 月 3 1 日
同	葛 西 勇	令和 2 年 3 月 3 1 日
同	伊 藤 文 雄	令和 3 年 3 月 3 1 日（新任）
同	中 西 勝	令和 3 年 3 月 3 1 日（新任）
監 事	中 西 和 康	令和 3 年 3 月 3 1 日（再任）
同	諸 岡 眞	令和 3 年 3 月 3 1 日（新任）
事務局	竹 谷 吉 弘	

なお、任期の解釈は、所定（上記）の任期満了後も、次期総会までは継続することを平成 13 年度の総会で確認した。

志 登 茂 会 会 則

第1条 この会は、志登茂会と称し、事務所を三重大学内（津市栗真町屋町1577番地）におく。

第2条 この会は、会員相互の親睦を密にし、おのおのの心身の健康の増進を図るとともに、教養をたかめ、かつ、三重大学の発展のため協力することを目的とする。

第3条 前条の目的を達成するため、次のことを行う。

- 一 あらゆる方法、機会をとらえて、会員相互の親睦を量ること。
- 二 互に励まし、助言し、心身の健康の保持増進に努め、教養をたかめること。
- 三 三重大学の発展のため、有形無形の協力をすること。
- 四 会報を発行すること。
- 五 その他前条の目的を達成するため、必要なこと。

第4条 会員は、三重大学事務系職員であった者で、この会の目的に賛同する者とする。

第5条 この会に、次の役員をおく。

- 一 会 長 1 名
- 二 副会長 2 名
- 三 幹 事 若干名
- 四 監 事 2 名

2 会長は、この会を代表し、会務を統轄する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、これに代わる。

4 幹事は、会長の命を受け、常務を処理する。

5 監事は、会計を監査する。

第6条 役員は、会員の推薦により決める。

第7条 役員の任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。

第8条 この会は、年一回定期総会及び懇親会を開くものとする。但し、必要に応じ臨時に開くことができる。

第9条 この会計は、会費及び寄付金その他によってまかなう。

- 2 会費は、一世帯あたり年額2,000円とする。但し、必要に応じ、臨時に徴収することができる。

第10条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

第11条 この会則の改廃は、総会の議を経なければならない。

附 則

- 1 この会則の一部改正は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この会則の一部改正は、平成15年4月1日から施行する。



令和元年度 志登茂会総会、懇親会（元. 6. 9（日） 於：三翠会館）

河合勝己

中西和康

西口章一

長嶋重次

井上 務

遠山雅三

寺嶋資文

伊藤文雄

金森 章

原林幸一

藤森迪哉

中西治幸

村山 充

村岸萬喜男

浦田孝一

諸岡 眞

寺西 清

赤塚正夫

黒川清司

服部美佐子

菅野 薫

瀬古一巳

市川知恵子

松田隆作

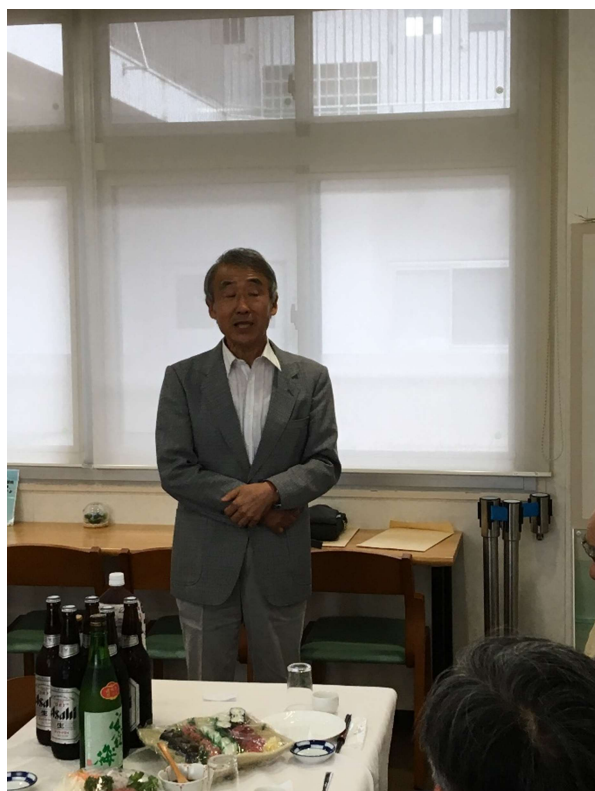
北川昭義

加藤孝生

懇親会風景



懇親会風景



琵琶湖八景近江八幡水郷めぐりとラコリーナ近江八幡等へのバス旅行(報告)

令和元年度の志登茂会の親睦行事として、11月14日(木)に「琵琶湖八景近江八幡水郷めぐり」と「ラコリーナ近江八幡」等への日帰りのバス旅行を実施しました。

今回の親睦会は、バスツアーのため参加人数を最低25名と予定していましたが、皆様の都合もあり、参加希望者が18名と少なくバスの借り上げに支障をきたすため、会員外の参加者を誘うことにし、平成29年度と同様に看護部退職者に声がけし 5名に参加をして頂き、参加者は23名になりました。

当日は、雨も朝方に止み、まずまずの行楽日和に恵まれ、移動はバスガイド付きのサロンバスを配車して頂き、津駅東口を午前8時30分過ぎに出発しました。

途中、土山SAに立ち寄り、11時前に近江八幡水郷めぐり舟乗り場に到着しました。

近江八幡水郷めぐりは、自然豊かな水郷で網の目のように入り組んだヨシの間を、ゆったりと手漕ぎ舟で進め、船頭との会話を楽しみながらゆったり進むのどかな水郷めぐりでした。

8名ずつに分かれて乗舟し、黄金色に変化したヨシの迷路を、カモやサギを間近に見ながら、60分間の屋形舟での遊覧を満喫しました。

昼食は、老舗の「炭櫓(すみやぐら)」で、近江八幡ならではのおいしい会席料理を味わいました。昼食後、「ラコリーナ近江八幡」へ移動し、美しい緑に囲まれた広大な農園での散策と、和菓子とバームクーヘンの店で思い思いの買い物を楽しみました。

最後の見学地は、古くから近江商人の信仰を集め、二大火祭の「左義長まつり(さぎちょうまつり)」で知られている「日牟礼八幡宮(ひむれはちまんぐう)」に参拝しました。参拝後、八幡掘の古い街並みを散策しながらバス駐車場へ戻り、帰路に着きました。

予定より早く午後5時に津駅東口に到着することが出来、次回の再会を約束し解散しました。

今回の日帰り旅行は、初めて貸切バスでの旅でしたが、急きょ看護部OBの方に参加して頂いたこともあり、より賑やかに会話が弾み、楽しい一日を過ごすことができました。

何より大過なく無事に家路につけた事を喜んでいます。……ありがとうございました。

(加藤孝生 記)





事 務 連 絡

本年も前年通り、三翠会館内事務室に職員が常駐して、「志登茂会」のお世話をしておりますので、会費納入方法、その他のお問合せ・連絡については、下記までお願いいたします。

〒514-8507 津市栗真町屋町 1577

三重大学生物資源学部三翠会館内

電話：059-231-9677

Mail：dosokaijimu@ab.mie-u.ac.jp

編 集 後 記

表紙の写真は、令和元年8月に三重大学医学部附属病院を撮影したものです。

特別寄稿として、山田浩之医学・病院管理部長から「附属病院へようこそ」と題し、執筆していただきました。附属病院の再開発に至る経緯、新病院の概要及び最近のトピック等が紹介され、また、病院収入及び患者数の変遷及びそれぞれのこれからについても説明いただき、我々が勤務した当時と比較することができ、三重大学医学部附属病院の状況等を知る良き機会となり有難く感謝しています。

また、4名の会員の方々から、「近況報告」等の投稿をいただきました。

投稿いただきました皆様には、ご協力いただきありがとうございました。

また、写真撮影でお世話になった伊藤文雄幹事には、心からお礼申し上げます。

本年度の志登茂会の親睦交流行事は、いつもとは多少趣を変え、初めてバス1台を借り上げ、琵琶湖八景近江八幡水郷めぐりとラコリーナ近江八幡等へのバス旅行を実施し、多くの方々の参加もあり、幅広く親睦が深まりました。

会報発行は、例年通り役員一同の「手作り」で、前回までとは異なり、今回は写真のすべてをカラー版としました。

今後の投稿記事につきまして、幅広く会員の皆様からいただきたいと思いますので、その節にはご協力のほどよろしくお願いします。

最後に、会員の皆様方の益々のご健康をお祈りいたします。

(編集者一同)